

テーマ：代価を払って買い取られた者の姿とその生き方

1. 6章の2つの言葉

①「知らないのですか」(6:2,3,9,15,16,19)

ギリシャ語の原文では、文頭で用いられていて、重要性が強調されている。

②「からだ」(12~20節の段落の中で11回使われている)

外側の肉体だけでなく、内側(心の部分)をも含めた、人間のすべてを言い表している。

2. 6章19節の2017年度版

「あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちに
おられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のもの
ではありません。」

3. 「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。」

「贖い」・・・買い取る。あるいは身代金を払って見受けする。

(身受けするとは、束縛されている状態、又、囚われの状態からの
解放を意味している)

マタイ 20:28

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、
また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるため
あるのと同じです。」(参：マルコ 10:45)

①「あなたがた」

②「代価を払って」

「代価」**国** 代金、品物の値段

ある事のために支払われなければならない犠牲、又、損害。

I ペテロ 2:24

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、
私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、
あなたがたは、いやされたのです。」

イザヤ 53:5~6

「しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために
砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、
私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分
かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に
負わせた。」

ヘブル 9:28a

「キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、」

エペソ 1:7

「この方にあつて私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。
これは神の豊かな恵みによることです。」

ローマ 4:25a

「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、」
身代わりに

I テモテ 2:6

「キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。
これが時至ってなされたあかしなのです。」

③「買い取られたのです」

・・・不定過去 (アオリスト) 受身

過去のある時になされた一つの決定的行為を示し、
現在もそれが継続していることを表している。

II ペテロ 2:1b

「自分たちを買い取ってくださった主」

使徒 20:28b

「聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を...」

パウロは、コリントの人々に対して、あなたがたは主イエス・キリストの尊い血と
いう代価が払われたことによって、主のものとなったのです、と述べています

A. 買い取られる以前の私たちの姿

P3

a. エペソ 2:1~3

靈的に死んでいた者
サタンに支配されていた者
神のさばきを受けて永遠の死に至る者

b. I ヨハネ 3:8~10

罪を習慣的に犯し続けていた者

c. ローマ 6:16

かつては罪の奴隷としてサタンに従っていた者

B. 買い取られた後の私たちの姿

a. ローマ 6:16~18

私たちは、罪の支配から解放されて、主イエス・キリストの
奴隷となった者

【キ】 デューロス 奴隷とは、主人に対して全き服従の者であり、
主人の所有物です。

マタイ 6:24a

「だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。」
直訳：「だれも二人の主人の奴隷であることはできません。」

※主の奴隷として

私たちが従順に、この方に従って生きることこそ、私たちの最善の生き方
です。

I サムエル 15:22

「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえ
を喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾け
ることは、御羊の脂肪にまさる。」

エペソ 6:5

「奴隷たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心
から地上の主人に従いなさい。」

b. エペソ 5:1~2

P4

私たちは、神の子ども（光の子ども）とされました。

ヨハネ 1:12

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、
神の子どもとされる特権をお与えになった。」

※神の子どもとして

私たちが従順に、この方に従って生きることこそ、私たちの最善の生き方
です。そして、日々の生活において、言葉も行いも愛に根差したもので
あるべきです。

コロサイ 3:14

「そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全な
ものです。」

ウィリアム・バークレー：

「イエスのささげ物は、神への完全な服従と、人類への完全な愛の生涯であった。
そしてこの服従も愛も十字架を受け入れるほどに絶対的な服従であり、限りない
愛であった。パウロが述べている内容はこうである。『神にならう者になりなさい。
そして、あなたがたが神にならば、イエスがささげた犠牲にならいたいのなら、
イエスが全人類を愛されたのと同じ犠牲的な愛をもって人々を愛し、神がなさ
れたように愛をもって人々を赦すことによってのみ、神にならうことができる。』
パウロが訴えているのは、キリスト者が自分自身の生活の中で、神の愛と情深さと
赦しと、憐れみとの態度を再現しなければならない。ということである。」

3. まとめ ——主イエス・キリストの奴隷また神の子どもとして——

① _____として、従順に主に従って歩む。

② 主は、私たちを完全に赦してくださいました。
主によって許された者として_____。

③ 主の犠牲的な愛を受けた者として、すべてにおいて
_____。